

2005年桜を見る会「分野別招待者数」

* 2005:国立公文書館

* 2014:内閣府「仕様書」

* 2019：菅官房長官発表

区分	招待者内訳	2005	2014	2019
皇	皇族	20		
	各国大公使	717		
10	国会議員	639		
20	大臣、副大臣、各省庁局長以上の者	514		
	都道府県知事議長	84		
30	元国会議員、前事務次官	133		
31	中綬章以上受勲者、文化勲章受章者	760		
40	各種委員会審議会の長	105		
41	特殊法人の長	72		
50	各会功績者（内閣府の推薦者）	201		
	各会功績者（その他の省の推薦者）	1538		
	①小計	4582		
60	総理大臣	737(60,65,66 合計で1061)	60,65、66 合計で3400	2000
61	自民党	1483	2900	6000
62	公明党	200		
63	(空欄)			
65	官房長官	* 132		
66	官房副長官	* 192		
	②小計	2744		
	出席者	8700	12800	18200

* ①小計4582人は招待枠がはっきりしているのに、人数が大幅に増えることは考えにくい

* 自民党推薦1483人が4倍以上の6000人に増えているのに、首相/官邸推薦1061人が2倍弱の2000人にしか増えていないのは不自然ではないか？ 2014年から見ると減っている。

* 内閣府が担当の「②小計」の名簿を抹消したので、9500人も増えた内訳が全く不明である。どこの人数が、そんなに増えたのか？